

経営比較分析表（平成29年度決算）

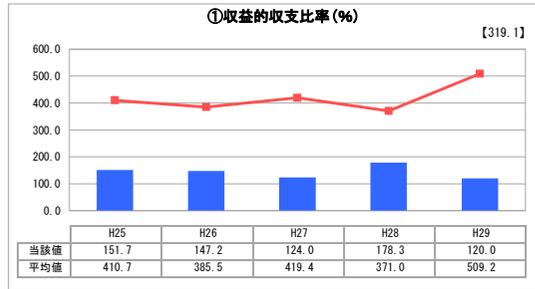
岐阜県瑞浪市 瑞浪市駅北駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	13	

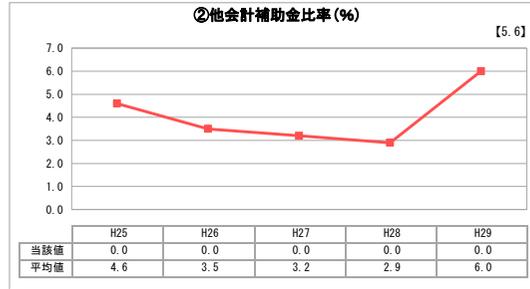
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	9,934
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
370	25	導入なし

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

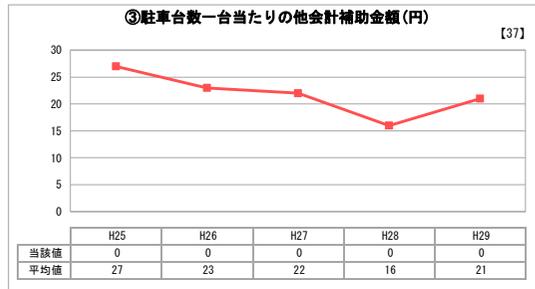
1. 収益等の状況



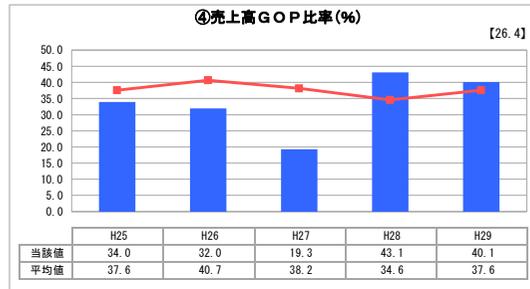
「経営損益」



「他会計補助金割合」

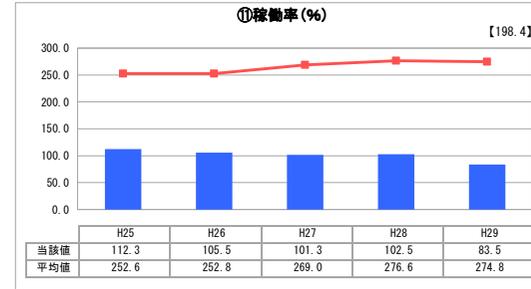


「他会計補助金額」

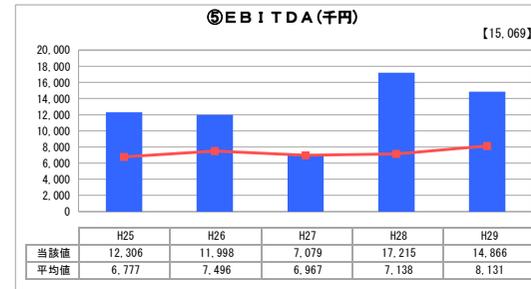


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

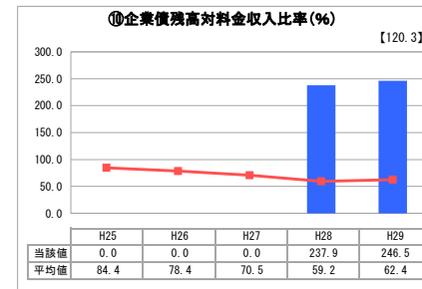


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)	345,356
⑧設備投資見込額(千円)	24,500



「累積欠損」



「債務残高」

分析欄

1. 収益等の状況について
『収益的収支比率』は、100%以上を維持してきましたが、平成29年度より、地方債の元金償還が始まったため、昨年度よりも減少しています。『売上高GOP』並びに『EBITDA』については、平成27年度から平成28年度にかけて駐車場管理機器の経費を抑制したため、数値が改善しています。駐車場の維持管理に係る費用を抑制し、さらに効率的な運用を行うよう努めます。

2. 資産等の状況について
瑞浪駅周辺の再開発が検討されており、駐車場の再整備も検討課題となります。駐車場管理機器の整備にも費用がかかるため、駐車場の集約についても検討していく必要があります。

3. 利用の状況について
平成26年度に駐車場の料金改定を行い、2か所の市営駐車場の料金体系が統一されました。そのため、浪花駐車場の利用者が増加しており、駅北駐車場の稼働率は減少しています。類似施設平均値と比較しても、その割合が低くなっており、利用者の増加につなげるのが課題です。

全体総括

駅北駐車場は、平成27年度から平成29年度にかけて駐車場の拡張工事を行い、それに伴い、起債の借入を行いました。今後10年程度は起債の償還が発生するため、より効率的な運営を行う必要があります。身体障がい者等に配慮した設備とするなど、駐車場利用者にとって利用しやすい設備を提供するとともに、今後はさらに利用者が増加するよう、サービスの提供に努めます。

経営比較分析表（平成29年度決算）

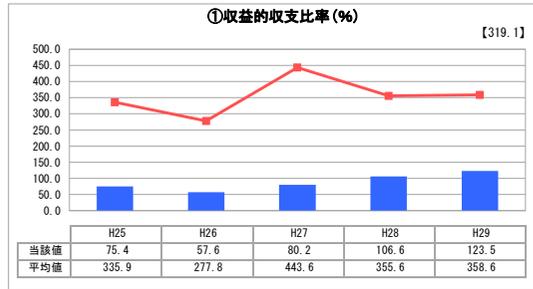
岐阜県瑞浪市 瑞浪市浪花駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	広場式	35	

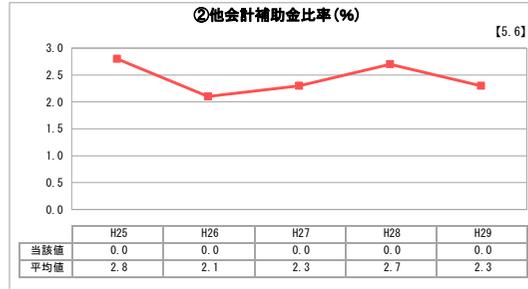
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	1,679
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
47	25	導入なし

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

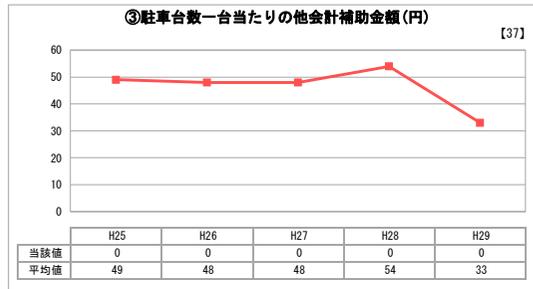
1. 収益等の状況



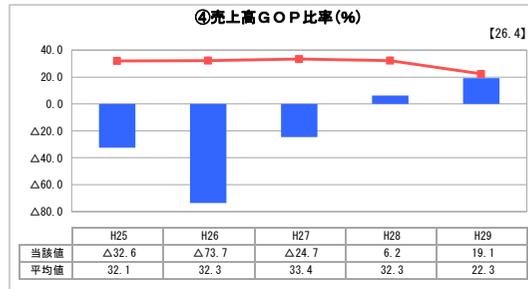
「経常損益」



「他会計補助金割合」

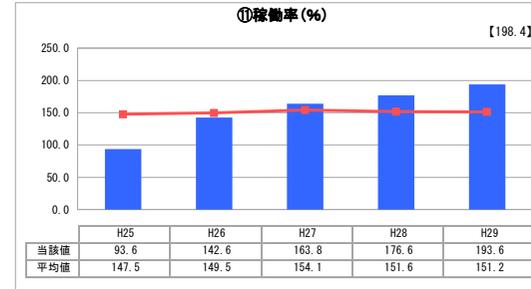


「他会計補助金額」

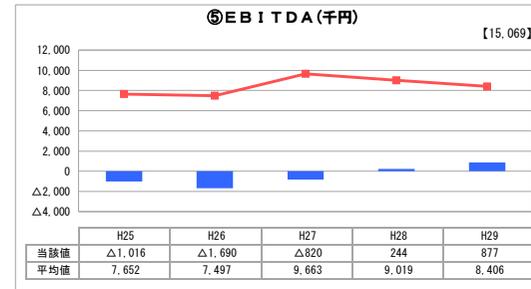


「売上高に対する営業総利益」

3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

分析欄

1. 収益等の状況について
 平成26年度の料金改定以前は、駐車時間に対する駐車料金が他の市営駐車場（駅北駐車場）と比較すると高く、利用者が比較的少ない状態でしたが、料金改定以降、利用者数も増加し、『収益的収支比率』、『稼働率』ともに改善しています。『売上高GOP』及び『EBITDA』については、昨年よりわずかに数値が改善しており、今後一層の効率的な運用に努めます。

2. 資産等の状況について
 駐車場管理設備等の再整備だけでなく、瑞浪駅周辺の再開発が検討される中で、市営駐車場の集約についても検討していく必要があります。

3. 利用の状況について
 平成26年度の料金改定により、利用者にとって、利用しやすい料金体系となりました。平成26年度の料金改定以降は、稼働率は改善しており、類似施設平均値を超える値となりました。利用者の増加によって、『収益的収支比率』についても、平成28年度に引き続き100%を超える値となり、改善が図られました。

2. 資産等の状況

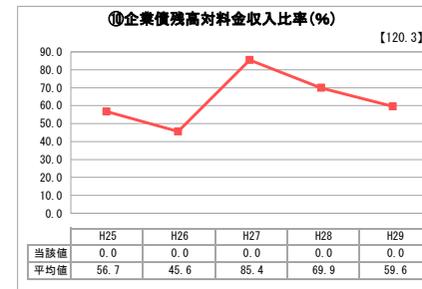


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)	89,638
⑧設備投資見込額(千円)	10,000



「累積欠損」



「債務残高」

全体総括
 『稼働率』は向上していますが、駐車場の維持管理に要する経費が依然として高い水準にあり、更なる経費の抑制が必要です。また、『稼働率』の水準が向上する一方で、『収益的収支比率』は、類似施設平均値と比較すると低い値であるため、経費の削減を図るなど、計画的かつ合理的な駐車場の運営に努めてまいります。